

ふれあい灘

令和：8年3月20日 第48号
発行：灘ふれあいのまちづくり協議会
委員長 浪平 博司
編集：広報部会
題字：橘 香陽



灘地域福祉センターをご利用のみなさまへ

2026年4月に、灘地域福祉センターが 灘地域交流センター に変わります！

地域福祉センターは、2026年4月1日より「神戸市立地域交流センター」へ施設名称を変更し「地域活動の促進・地域社会の課題解決に寄与する施設」として市民の皆さまにより活用してもらえる施設を目指していきます。



利用可能時間 の変更

日曜日や夜間も
利用可能に

利用料金変更

優先予約・
利用料金免除の
基準あり

営業利用禁止の ルール緩和

1人あたり5000円/月
以内

休館日は

金 曜日

「こども食堂」灘あゆみ食堂」の
立ち上げから一年を迎えて

灘あゆみ食堂 松永 邦彦



昨年三月二十二日の土曜日 灘あゆみ食堂の第一回目を開催して以来、毎月一回のこども食堂開催を重ね、もう一年が経とうとしていきます。ようやく軌道に乗ってきた感じがいたします。ここまで継続することが出来たのは、灘ふれあいのまちづくり協議会をはじめとする各地域団体の皆様、また灘小学校、灘区役所、灘社会福祉協議会等の様々な関係機関のお力添えによるものと実感しております。

私は三年前に灘区文化センターで地域食堂「六甲道みんなの食堂」、また長田区の職場でこども食堂「キッズカフェ」の立ち上げ・運営といった地域活動に携わってきました。神戸市内にはこども食堂等の「こどもの場所」が約400箇所ありますが、母校である灘小学校区にはこども食堂がないことを知りました。出身地域



で何か貢献したいという思いから、これまで培ってきた運営のノウハウを活用し、灘地域福祉センターで灘あゆみ食堂を立ち上げました。こども食堂といっても、ただ単に食事を摂る場所ではなく、土曜のお昼を楽しく過ごせる場所になるよう工夫を試みてきました。ピアノやバイオリン、お琴等の生演奏を聴き、また他のボランティア団体と協働で自由研究実験教室やしめ縄作り等のワークショップ、主に年配の方向けへのスマホ教室実施、さらに市民講師による「そば打ち体験」を開催するなど、体験型のこども食堂として参加された皆様に楽しんで頂いています。

私が障害福祉の仕事に従事していることもあり、障害のある方たちの社会参加の機会になればと思います。ボランティアスタッフとして参加していただく場にもしています。子どもから大人まで幅広く地域の方たちが集まる場所、また障害の有無・国籍等ご本人の状況に関係なく、誰もが集まる場所として、これからも灘あゆみ食堂を継続してまいります。



【お知らせ】

灘地域福祉センターは、新制度への移行に伴い灘地域交流センターと名称が変わります。移行後の4月1日からの利用は新料金体制になります。4月の利用申し込みは3月1日から可能になりますが、利用料金は新規利用料での支払いとなります。

《編集後記》



今年の二月は雪がちらつく日がありました雨が降りません。貯水ダムが干上がっているニュースや山火事が炎を上げているニュースを見ましたが、何といっても新年早々の話題は衆議院選挙でした。「私を信任する選挙」と言っている衆議院を解散した高市首相は三/四以上の与党議席を獲得し政治に安定をもたらしました。私達の生活がより暮らし易いものになって欲しいと願います。

選挙が終わったとたんテレビは冬季オリンピック一色でした。りくりゅうペアは見事な金メダル。スノーボードでは十代二十代が大活躍と大いに国中が盛り上がりました。さて、ふれあい灘の編集に携わり八年となりました。地域の話題とふれあいの活動を中心に、部員全員の意見で紙面を作ってきましたが、少しマンネリに陥っている感じがします。新年度からは紙面を刷新できればと思っています。〈伊集院

《私のできる地域貢献》

原田中学校三年 山口 沙菜

山口さんの作品は、昨年の社会を
明るくする作文コンクールで神戸市
内337点の優秀賞に選ばれました。



犯罪や非行のない地域社会づくりに必要なもの、それは地域の人たちのつながりではないかと私は思います。ただ知っているだけでなく、気軽に挨拶できる関係性ということが非常に大事なのではないのでしょうか。

私の住んでいる家の前には大きなグラウンドがあり、毎朝地域の高齢者の方達を中心としてラジオ体操やゲートボールをしたり、夏には地域のお祭りが開かれたりしています。また、同じ高齢者の方々が中心となり、私たちが小学校や中学校に登下校をする際の横断歩道の見守りをしています。

私は小学校に通っていたある時、毎朝その見守りをしているおじいさんに「どうした？今日は元気がなさそうだね？」と言われました。前日に学校で友達とけんかをし、今日会うのが気まずいから学校にいきたくないという話をしました。すると、「そんなの昨日はごめんねって一言謝ったらすぐに許してくれるよ。」と言ってくれました。その話をおじいさんに聞いた後、学校に行っ

てその友達に謝りました。すると、おじいさんの言った通りすぐに仲直りすることができました。

その日の下校時におじいさんに学校でのことを報告し、感謝を伝え、どうしてわかったのかを聞く。「毎日みんなが元気に学校や会社に行ってくれるということを考えて、立っているから顔を見たらすぐに分かるんだよ。」と言われました。私はそれまで、地域の見守りをしてくれている方達がただ立って車に轢かれぬように見ているだけなんだと思っていましたが、そうではなく地域の人たちの体の安全のみならず心の安全も見守ってくれているんだということを感じました。

そのことがあった後に私は、何かお手伝いできないかと考えました。しかし、自分が学校に行く時間に横断歩道に立って見守ることはもちろんできません。何かできないかということをもいつものおじいさんに話をすると「じゃあ、毎朝その公園でラジオ体操をしているからいつでもいいからそこにおいで。」と言われました。学校に行く前の時間にラジオ体操に行くことは、起きてから登校の時間まであまり時間が無いので難しかったですが、いつもよりも一時間早く起きてラジオ体操に参加しました。そこには、いつものおじいさんの他にも多くの地域の人々が参加していました。私は、おじいさんに何かお手伝



《クリスマス会》の報告

広報部会



昨年12月21日(日)ふれまち主催のクリスマス会が開催されました。大勢の子ども達で大賑わいでした。歌を歌い、音楽遊びを体験し、バイオリンコンサートに聞き入りました。最後にお待ちかねのサンタさんからプレゼントをもらいあっと言う間の2時間でした。



《餅つき大会》の報告

広報部会



今年2月11日(祝・水)ふれまち主催恒例の餅つき大会が開催されました。小雨の中大勢の人達で大賑わいでした。10時開始でしたが、あん餅、きなこ餅、おろし餅の3種類のお餅が次から次へと参加者のお腹に消えていき12時には40kgのお餅が完売。

